

7月9日：VN指数は1,300pt 目前まで上昇 (VN-Index +0.79%)

- 本日、VN指数は上昇して取引を開始した。
- 大型株を中心に株価調整が続いた反面、中小型株が相場全体を支えた。こうした動きは特に、前場に見られた。
- その後、リスクオン姿勢は大型株にも波及。後場には、幅広い銘柄で買いが見られ、取引終盤にかけて上昇トレンドが続いた。
- セクター別では、化学、保険セクターが主なけん引役となった一方で、旅行・レジャー、情報技術セクターが重しとなった。
- 295銘柄が上昇、155銘柄が下落、63銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は9.5%増加し、21.8兆ドンとなった。

VN30指数は後場、上昇に転換 (VN-30 +0.45%)

- 大型株で構成されるVN30指数は、25銘柄が上昇し、5銘柄が下落。
- GVR (+4.11%)、HDB (+3.48%)、BCM (+3.25%)、BVH (+2.59%) が2%超の上昇銘柄だった。
- FPT (-1.50%)、PLX (-1.08%)、TCB (-0.43%)、MWG (-0.30%)、VNM (-0.15%) は下落した。

セクター・個別株の動き

- 国際協力銀行 (JBIC) は昨日、ベトナムのガス田「ブロックB」プロジェクトへの協調融資を発表。融資総額は約8億ドルで、VIP (+6.94%) は昨日に引き続き、ストップ高を記録した。
- 再生可能エネルギーの「電力直接購入契約 (DPPA)」が今月3日から可能になったことが現地メディアで再び報じられ、PC1 (+6.94%) などが注目された。

- 外国人投資家は4630億ドルの売り越し。HDB (+3.48%) は昨日とは一転し、最も買い越された。一方、FPT (-1.50%) を筆頭に、MSN (+0.39%) などが売り越された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。